

**「アスリートイメージ評価調査」北京オリンピック出場選手特別編を実施
～「最も感動した」アスリートは北島、「4年後に活躍を期待する」アスリートは内村～**

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(本社:東京都港区 社長:佐藤孝 以下博報堂DYメディアパートナーズ)は、株式会社博報堂DYスポーツマーケティング(本社:東京都港区 社長:萩原徳正 以下博報堂DYスポーツマーケティング)と共同で、出場アスリートとスポーツキャスターの総合的なイメージを測定する「アスリートイメージ評価調査」北京オリンピック出場選手特別編を行いました。

今回調査での「最も感動した」アスリートは、1位に北島康介(水泳)、2位に上野由岐子(ソフトボール)、3位に朝原宣治(陸上)となっており、メダルを獲得したアスリートが上位を占めています(敬称略、以下同)。

また、「4年後に活躍を期待する」アスリートは、1位に内村航平(体操)、2位に北島康介(水泳)、3位に福原愛(卓球)となっており、メダルに届かなくても期待以上に活躍したアスリートも高く評価される結果となりました。

そして、「CMに出演して欲しい」アスリートは、1位に北島康介(水泳)、2位に太田雄貴(フェンシング)、3位に福原愛(卓球)で、「4年後に活躍を期待する」で上位にランキングされたアスリートと重なる結果となっています。

この調査はCMキャスティングの際に使用する基礎データとしての活用を主な目的とし、対象アスリートの認知、好意度のほか、博報堂DYメディアパートナーズが独自に構築した29項目のイメージ評価によるオリジナル調査で、今回は北京オリンピック出場選手特別編としてオリンピックに関する質問を7項目増やし実施しました。

博報堂DYメディアパートナーズでは、今後も定期的に「アスリートイメージ評価調査」を実施し、アスリートのイメージ評価がどのように変化していくのか分析を行ってまいります。

■主な調査結果

1)“最も感動した”アスリートには、「北島康介」「上野由岐子」「朝原宣治」メダルを獲得したアスリートが上位にランキングされる結果となりました。

- 1位：北島 康介(水泳)
- 2位：上野 由岐子(ソフトボール)
- 3位：朝原 宣治(陸上)
- 4位：ウサイン・ボルト(陸上)
- 5位：谷 亮子(柔道)

2)“4年後に活躍を期待する”アスリートには、「内村航平」「北島康介」「福原愛」メダルに届かなくても、期待以上に活躍したアスリートも高く評価されました。

- 1位：内村 航平(体操)
- 2位：北島 康介(水泳)
- 3位：福原 愛(卓球)
- 4位：太田 雄貴(フェンシング)
- 5位：谷 亮子(柔道)

3)“CMに出演して欲しい”アスリートには、「北島康介」「太田雄貴」「福原愛」メダルを獲得し、存在感のあるアスリートが上位にランキングされる結果となりました。

- 1位：北島 康介(水泳)
- 2位：太田 雄貴(フェンシング)
- 3位：福原 愛(卓球)
- 4位：ウサイン・ボルト(陸上)
- 5位：上野 由岐子(ソフトボール)

4)“期待以上の成績だった”アスリートには、「太田雄貴」「北島康介」「上野由岐子」ニューヒーローアスリートの活躍が脚光を浴びる結果となりました。

- 1位：太田 雄貴(フェンシング)
- 2位：北島 康介(水泳)
- 3位：上野 由岐子(ソフトボール)
- 4位：内村 航平(体操)
- 5位：スエマエ(末綱・前田ペア) (バドミントン)

5)“**好感がもてる**”アスリートには、「上野由岐子」「北島康介」「内柴正人」

- 1 位： 上野 由岐子(ソフトボール)
- 2 位： 北島 康介(水泳)
- 3 位： 内柴 正人(柔道)
- 4 位： 吉田 沙保里(レスリング)
- 4 位： 太田 雄貴(フェンシング)

6)“**誠実な**”アスリートには、「富田洋之」「朝原宣治」「内柴正人」

- 1 位： 富田 洋之(体操)
- 2 位： 朝原 宣治(陸上)
- 3 位： 内柴 正人(柔道)
- 4 位： 上野 由岐子(ソフトボール)
- 5 位： 高平 慎士(陸上)

7)“**精神的強さを感じる**”アスリートには、「北島康介」「上野由岐子」「朝原宣治」

- 1 位： 北島 康介(水泳)
- 2 位： 上野 由岐子(ソフトボール)
- 3 位： 朝原 宣治(陸上)
- 4 位： 吉田 沙保里(レスリング)
- 5 位： 谷 亮子(柔道)
- 5 位： 内柴 正人(柔道)

■調査概要

- ・調査方法： Web 調査
- ・調査地区： 首都圏＋京阪神圏
(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県)
- ・調査対象者： 対象エリアに在住の 15～69 歳の男女
- ・有効回収サンプル数： 600 サンプル
- ・調査期間： 2008 年 8 月 29 日～9 月 2 日

■この件に関するお問い合わせ先

博報堂DYメディアパートナーズ

広報グループ 舟橋・加藤 03-6441-9347

スポーツ事業局 松波 03-6441-9631

メディア・コンテンツマーケティング局 大足 03-6441-9772